千葉市政策評価制度の再構築(案)

〇政策評価制度は、新基本計画に掲げるまちづくりを推進するため、計画の進捗状況の把握や評価・分析など、ＰＤＣＡサイクルによる進行管理を行うことを目的としている。

〇新基本計画審議会による中間評価（第１次実施計画期間・平成２９年４月公表）の審議において、制度設計や成果指標等に課題がある旨の指摘を受け、再構築を行った。

［制度設計］ ①評価プロセスを３段階に整理　②達成状況の機械的な分類を廃止⇒背景にある諸要因を考慮した分析・考察を実施

［成果指標］ ①客観指標⇒計画事業との関連性が高い指標を設定　②実感指標⇒市民が実感しやすいものを設定／アンケートに実感の理由を問う設問を追加し分析・考察を強化

Ⅰ 現行制度

STEP1：客観・生活実感・行動指標の達成状況に対する評価（施策レベル）

計画事業名	区分	指標名	達成状況（4段階）	分析・考察の内容
･･･の整備	客観	･･･の利用者数	◎	・達成状況の分析 ・課題及び今後の取組みの方向性
･･･の設置	実感	･･･と感じる割合	○	・達成状況の分析 ・課題及び今後の取組みの方向性
･･･の推進	行動	･･･したことのある割合	△	・達成状況の分析 ・課題及び今後の取組みの方向性
･･･の保全				

計画事業の取組み効果を成果指標により測定

客観・生活実感・行動の各指標を並列に位置づけ

達成状況を機械的に分類（◎～×）・点数化し、施策の柱ごとに平均化

STEP2：各指標の評価結果を集約（施策の柱レベル）

【実施部署】所管課

評価区分（5段階）	分析・考察の内容
C	・評価の理由・説明 ・今後の取組みの方向性

→この結果を政策評価とする

点数に応じ、評価区分を機械的に設定（Ａ～Ｅの5段階）

【Ⅱ課題】

①事業と指標との結びつきが弱く、市の取組みが指標値に反映されにくい

②性質の異なる指標が画一的に扱われている

③機械的に評価結果を導出するため、数値の背景にある諸要因が評価に反映されない

【Ⅲ変更点】

①指標の見直し

・事業と関連性がより 高い指標を再設定
・目標値を実態に即して再設定（補足資料参照）

②評価プロセスの整理

「行政活動実績評価」と「アンケート指標の分析・考察」、それらを総合的に評価する「政策評価」の３段階に整理

③分析・考察の強化

・達成状況の機械的な分類を廃止
・諸要因を考慮しつつ分析・考察

④分析・考察の強化

・アンケートに実感の理由を問う設問を追加
・客観指標と結びつけた詳細な分析・考察を実施（補足資料参照）

⑤分析・考察の強化

・平均点の算出による機械的な分類を廃止
・諸要因を考慮しつつ分析・考察

Ⅳ 再構築案

計画事業名	区分	指標名	達成状況（4段階）	分析・考察の内容
･･･の整備	客観	･･･の利用者数	【廃止】	【強化】 ・達成状況の分析 ・課題及び今後の取組みの方向性
･･･の設置	客観	･･･稼働率	【廃止】	【強化】 ・達成状況の分析 ・課題及び今後の取組みの方向性
･･･の推進	客観	･･･の削減率	【廃止】	【強化】 ・達成状況の分析 ・課題及び今後の取組みの方向性
･･･の保全				

STEP1：「行政活動実績評価」客観指標と計画事業等と関連づけて分析・考察

【実施部署】第１段階：所管課　第２段階：政策企画課

区分	指標名	達成状況（4段階）	分析・考察の内容
実感	･･･と感じる割合	【廃止】	【強化】 ・達成状況の分析 ・課題及び今後の取組みの方向性
行動	･･･したことのある割合	【廃止】	【強化】 ・達成状況の分析 ・課題及び今後の取組みの方向性

STEP2：アンケートによる指標（生活実感・行動）の分析・考察

【実施部署】　政策企画課

評価区分（5段階）	分析・考察の内容
【廃止】	行政活動実績評価及びアンケートの分析結果を踏まえ、市の取組みに関する課題等について分析・考察

STEP3：「政策評価」

【実施部署】政策企画課